

東京電力(株)福島第一原子力発電所2号機の出力低下について

平成17年10月11日
経済産業省
原子力安全・保安院

原子力安全・保安院は、昨日（平成17年10月10日）、東京電力(株)から、福島第一原子力発電所2号機（沸騰水型、定格電気出力78万4千キロワット）を出力低下させた旨、以下のとおり報告を受けた。

（東京電力(株)からの報告内容）

福島第一原子力発電所2号機は定格電気出力で運転中のところ、10月9日23時58分、原子炉再循環ポンプ（B）「インバータ（B）重故障」の警報が発生し、当該ポンプが自動停止したことから、電気出力が約33万キロワットまで低下した。

その後、電気出力約18万キロワットに低下して運転しておりましたが、原因の詳細な調査を行うため、10月10日23時57分に原子炉を手動停止した。

なお、外部に対する放射性物質の影響はない。

（INESによる暫定評価）

基準 1	基準 2	基準 3	評価レベル
—	—	0—	0—

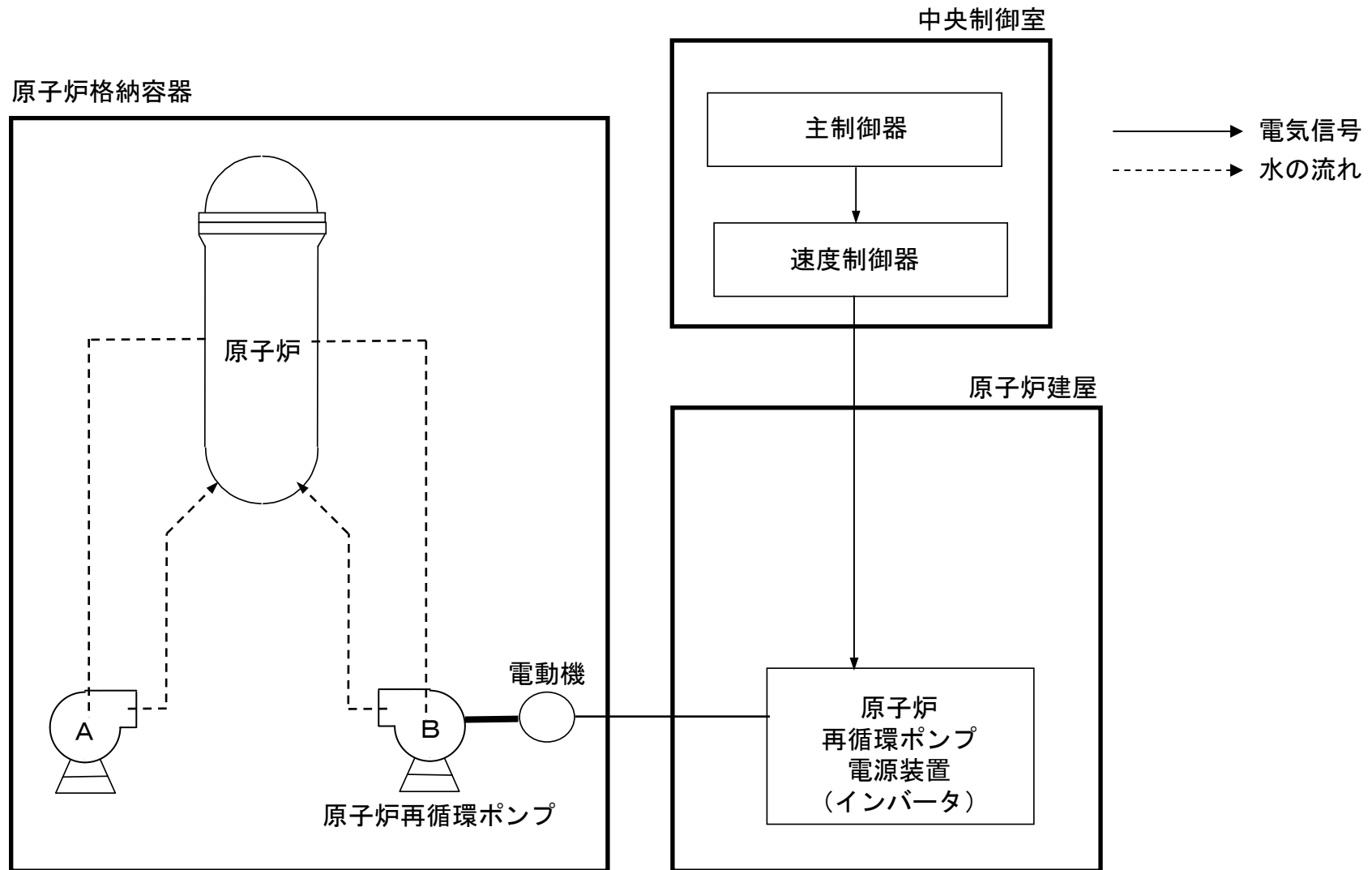
【問い合わせ先】

原子力安全・保安院

原子力防災課原子力事故故障対策室 市村、中島

電話：03-3501-1511（内）4911

03-3501-1637



福島第一原子力発電所2号機原子炉再循環ポンプ制御の概要図